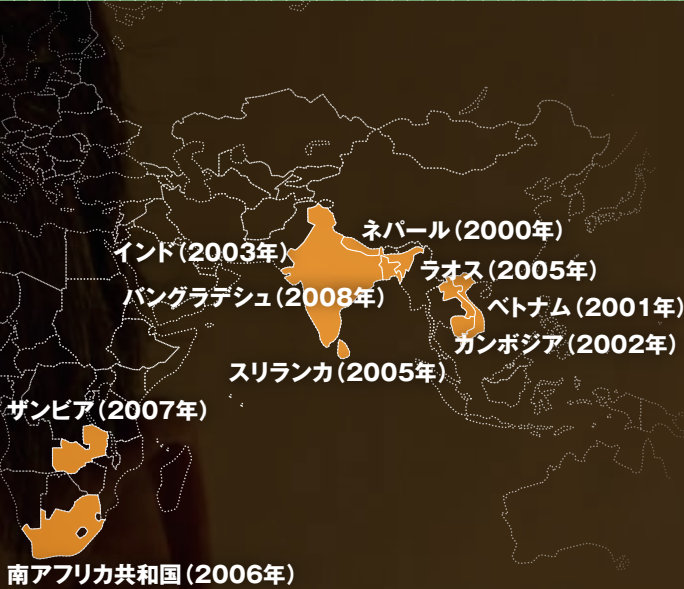


超えて!

ビジネスモデル



「世界中の貧しい子どもたちに本を！」。マイクロソフトの要職を抛って、NPO「ルーム・トゥ・リード」を設立したジョン・ウッドは途上国における教育支援に一身を投じた。「教育が未来への希望を生み出す」という熱い志、マイクロソフト流の経営手法に基づくしたたかなビジネスモデル。彼の生き様を通じて、真の「社会企業家」のあり方を問う。 本誌・藤井 一

NPO「ルーム・トゥ・リード」(本を読む部屋(余裕)の活動実績)

英語児童書寄贈
280万冊

学校建設
832校

図書室/図書館設立
7,526カ所

現地語児童書発行
600万冊(計334タイトル)

女子教育支援プログラム提供
8,786人

マイクロソフトを

「社会企業家」ジョン・ウッズの志と

- 教育は、子どもたちにとって生涯の贈り物になります。
- 教育は、子どもたちだけでなく、家族や家族を取り巻く町、村、国、そして次世代の社会や経済を変える力を持っています。
- 教育は、未来への希望を生み出します。
- 子どもたちに未来を。子どもたちに希望を。

(NPO 「ルーム・トゥ・リード」の活動紹介より)
<http://www.roomtoread.jp/>

ジョン・ウッズ

John Wood

ケロッグ経営大学院卒業 (MBA)。銀行勤務を経て1991年にマイクロソフト入社。30代前半で国際部門の要職に就くも、99年にNPO「ルーム・トゥ・リード」設立。途上国の教育支援に力を注ぐ45歳。